

最大の焦点 国民健康保険税の2年連続値上げ どうする？

開会中の守山市3月定例議会は、8日・9日の両日、各会派による代表質問と個人からの一般質問が行われました。代表質問では、5会派のうち4つの会派が、国民健康保険税引き上げ問題を取り上げました。また市民からは「国保税値上げしないで…」と請願が出されるなど、2年連続の値上げ提案が大きな焦点となっています。議案は、常任委員会で審議されます。

各会派の代表質問 主張のポイント

政和会 小原議員
国保収納率73%、収納率の向上と健康づくりに全力で取り組むべき。国保会計は赤字だが、一般会計の繰り入れは行うべきでない。

創政会 藤木議員
会計が不足するから値上げ、というのは理解得られない。これ以上の値上げは医療のセーフティネットの破綻を意味する。

ネットワーク未来 富樫議員
国民健康保険の破綻は明らか。抜本的な改革が必要。国の医療保障制度の一元化を国に求めるべき。



一般財源から国保特別会計へ繰り入れして高すぎる国民健康保険税を引き下げよ

日本共産党 小牧一美議員が代表質問

国民健康保険税は、今年度約2割の引き上げをしなければ、2年連続の値上げです。日本共産党の小牧一美議員は8日の代表質問で、先の政府交渉の内容も紹介しながら、高すぎる国保税を引き下げられるために、一般会計からの繰り入れを行うべきではないか、と市長の見解を求めました。

提案通り国保税の値上げが実施されると、年収282万円の2人世帯の場合、2年で約3割、5万3800円も引き上げられることになり、相次ぐ引き上げは「払いたくても払えない」という、新たな滞納者を生むことになり、国保財

政危機の根本的要因が国の補助金削減にあることを指摘しながら、先の政府交渉で、市の一般財源から国保会計に繰り入れることは、制限がなく、自治体の裁量の問題であること、高すぎる国保税を引き下げ

長に求めました。これに市長は「受益者負担の原則や負担の公平性、特別会計としての独立性の観点から、一般会計からの繰り入れは認められない」と、国保会計が赤字なので、税率引き上げに至ったと、あくまでも市民負担増に固執した答弁に終始しました。

副市長 「同和特別施策については、地域の実態を把握しながら、見直しを進めていく」

「同和」の特別対策について、9日の小牧議員の一般質問に、副市長は「いまだに差別事象はなくなっていない」と、従来の認識を示しながらも「現在5つある特別施策を、今後、地域の実態を把握しながら、見直しを進めていきたい」と、一歩ふみこんだ答弁をしました。

「同和问题」については、国の法律による特別対策が失効してから、すでに7年が経過し、すでに「同和」の冠は一切なくし、必要な施策については一般施策として、市政運営を行っている自治体がある一方で、守山市では、いままなお、固定資産税の同和減免を実施したり、「差別がある限り同和対策は必要」として、「人権啓発」などの名目で、多額の税金を投入しています。

民主党政権のもとで

日本の農業を考えるシンポジウム

農業はどうなる...

◆ お話しする人 有坂哲夫 さん
日本共産党中央委員会 農林漁民局長

◆ パネリスト 勝見友男 さん
守山市認定農家
◆ パネリスト 西村博次 さん
草津市産業振興部長

3/20 (土)
午後1時30分から

会場 JA草津市
大会議室

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

TEL 584-3077
FAX 584-3466